

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 24 年度第 2 回 議事録

担当 仙頭紀明（幹事）

日時	平成 24 年 7 月 18 日（水） 14：30～17：00					場所	地盤工学会 会議室	
部長	小島 芳之	○	★理事	竹下 祐二	○	幹事	仙頭 紀明	○
部員	伊貝 聡司	×	部員	長田 昌彦	×	★部員	斉藤 和則	×
★部員	高柳 剛	○	★部員	藤原 照幸	○	部員	平井 貴雄	○
部員	宮田 喜壽	×	部員	吉嶺 充俊	○	部員	利藤 房男	○
オブザーバー	中川 直	×						

★：H2024年度新任 ○：出席予定 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席予定 △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-24.2.0	平成 24 年度 第 1 回基準部会議事録案
資料-24.2.1	地盤工学会運営について [6/20 理事会資料]
資料-24.2.2	7 月 15 日開催研究発表会 DS-1 配布資料
資料-24.2.3	地盤調査－載荷試験関係基準に関する会員意見と対応表
資料-24.2.4	改正基準案「JGS1221 固定ピストン式シンウォールサンプラーによる土試料の採取方法」に対する会員からの意見への対応案
資料-24.2.5	「地盤調査の方法と解説」改訂版の印刷会社選定表
資料-24.2.6	「技能試験実施検討WG」配布資料
資料-24.2.7	理事会（6/20）開催報告資料
資料-24.2.8	地盤工学表記法委員会報告資料 [6月14日議事録案]
資料-24.2.9	室内試験規格・基準委員会報告資料 [7月15日議題書]
資料-24.2.10	地盤調査－地下水公式集の提案
資料-24.2.11	
資料-24.2.12	
資料-24.2.13	
資料-24.2.14	
資料-24.2.15	
資料-24.2.16	
資料-24.2.17	
資料-24.2.18	
回覧資料	

1. 前回議事録の確認

(資料-24.2.0)

審議事項 7 地盤調査規格・基準委員会関係 の (1) (3) に訂正があったため、訂正した議事録を事務局より部員にメールし、再確認することとなった。

理事会開催報告に示されている地盤材料試験の方法と解説の原稿料支払いが滞っている件は、事務局が7月中に準備をして、旧委員に連絡することが確認された。

2. 全体関係

(1) 会長からの提案 継続審議

(資料-24.2.1, 2)

「地盤工学会運営について」(末岡会長、6/13) について部長より優先して取り組むべき3つの課題と理事会で取り組む5つの課題について説明があった。日下部前会長が提示した課題との継続性もあることから、安福前部長がまとめた基準部の活動に関するメモを次回の部会で提示し、継続して議論を行うこととする。

地盤工学会のISO規格への対応方針について、地盤工学会研究発表会DSで小島部長が発表した資料をもとに説明があった。

基準の英文化：基準部 2223 年度予算で英文化した室内試験関連基準について、次回部会でその成果を報告いただくこととなった。地盤調査規格・基準委員会は 2324 年度予算で英訳する基準の候補を次回部会で報告いただく。

JGS の JIS 化：今年度中に優先して JIS 化する基準を選定することとなった。まずは、各委員会でWGにその趣旨を説明いただくこととする。具体的な順位付の方法については今後議論する。

3. 委員等の異動

- (1) 室内試験規格・基準委員会
- (2) 地盤調査規格・基準委員会
- (3) ISO 国内委員会
- (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
- (5) 表記法検討委員会
- (6) 部員の異動

特になし。

4. ISO 国内委員会 関係

(1) 国際会議派遣

①第27回ISO/TC 190年次総会 ①~⑤はメール審議済

- ・行先：フィンランド・ヘルシンキ
- ・出張者：①坂井グループ・リーダー（JR総研、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）—convenor、議長職）
- ②野上委員（リガク、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）—project leader (XRF)、議長職に準ずる者）
- ③藤田委員（日立製作所、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）—project leader (TA)、議長職に準じる者）
- ④浅田グループ幹事（清水建設、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）—project leader (TK)、議長職に準じる者）
- ⑤和田委員（九州大学大学院、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）—expert、新規案件（CC）のproject leader (CC)候補者）
- ⑥肴倉委員（国内委員会WG7グループリーダー；国立環境研究所）

・会議期間：2012年9月9日～9月16日

出張期間は、出張者によって異なり、会議期間中に開催される第13回ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）会議を中心に、「ついで出張」とならないよう出張行程を個別に伸縮します。ただし、坂井グループ・リーダーと浅田グループ幹事にあっては、ISO/TC 190の議長職または日本代表としての職分がありますので、第27回ISO/TC 190年次総会期間中は通し出席いたします。

・理由：現在、日本（地盤工学会）は、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）を主導し、地盤環境向けのスクリーニングに関する規格案を3件（ケイ光X線検出法(XRF)、比濁検出法(TA)およびテスト・キット検出法(TK))を提案して審議中です。ま

た、新規規格化わくのひとつである気候変動（CC）についても、スクリーニング法の規格化事業の一環として日本提案を目論んでいるところです。そこで、これら用件のため、関係議長職、議長職に準じる者およびこの候補者等を当該会議に出張させるものです。

- ・費用：本件については、経済産業省支弁（国際標準開発事業補助金①・③～⑤，重点 TC 指定②，及び ISO 対応活動費⑥）となっております。

⑥の国際会議派遣を承認した。

5. 地盤工学表記法委員会 関係

特になし。

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

特になし。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

- (1) 載荷試験関係基準に関する会員意見と対応 (資料-24.2.3)
JGS1521、3411、3511、3532 に対する会員意見と対応が説明され、承認された。
- (2) 改正基準案「JGS1221 固定ピストン式シンウォールサンプラーによる土試料の採取方法」に対する会員からの意見対応 (資料-24.2.4)
サンプラーの押込み長は基準にある通り 90cm 以下とし変更しないことが確認された。また解説にその根拠を記載することが報告された。
- (3) 「地盤調査の方法と解説」最終原稿 (回覧資料)
7 月 31 日までに原稿を確認し、意見等があれば利藤委員、事務局（伊佐治氏）にメールで連絡することとなった。原稿は HP にアップし、事務局はその URL を部員に知らせることとする。
- (4) 「地盤調査の方法と解説」の印刷発注（理事会審議） (資料-24.2.5)
事務局より印刷見積比較表（3 社）が示され、価格とこれまでの実績を踏まえて C 社とすることを承認した。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし。

9. 販売促進 WG

特になし。

10. 基準部所管刊行物

特になし。

11. その他

- (1) 「技能試験」の実施に関する検討（理事会報告） (資料-24.2.6)
「技能試験」の実施について、部長より WG の設置、検討経緯、継続的实施に向けた課題の整理について説明があり、実施検討 WG の構成案が承認された。今後会議を 2 回開催（8/22、11 月中）し、年内に答申案をまとめて理事会に答申する。

報告事項

1. 理事会（6 月 27 日）開催報告

(資料-24.2.7)

特になし。

2. 全体関係

特になし。

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成 24 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)	報告書	(納期)	
-------	------	-----	------	--

	助成	受託	の有無		
・土木学会	100万円		○		
・三菱総合研究所（回答作成）	70万円		○		
・三菱総合研究所（重点TC旅費）	3件		○		
・日本土木工業協会					
・三菱総合研究所（国際標準開発事業）		450万円	○		
小計	170万円+3件	450万円			
合計	620万円+3件				

(2) 地盤工学表記法委員会

① H24 第1回委員会（6月14日開催）報告

（資料-24.2.8）

第1回委員会の議事録が示された。

(3) 室内試験規格・基準委員会

① H24 第1回委員会（7月15日開催）報告

（資料-24.2.9）

今年度優先的に英文化する基準、今後基準化すべき基準をWGで選定し、次回委員会において議論することが報告された。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① 地下水公式集の提案

（資料-24.2.10）

次回改訂にむけて、理論式の誘導に関する部分を引用できるような文献として、公式集を出版する計画があることが報告された。書籍として出版するには採算性の問題があり、その解決策について議論を行った結果、CDに収録し、青本の付録とする案が示された。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし。

(6) 販売促進WG

特になし。

(7) 英文HP

新年度になりメンバーも変更になっているため、HP掲載の名簿を更新する。

4. 日本工業標準調査会 土木部会

特になし。

●H24年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日，太字は次回開催日
基準部会	安福 規之	5/17, 7/18, 9/12or13, 11/20
ISO 国内委員会	大谷 順	6/19
・WG1 ISO/TC182 対応	木幡 行宏	
・WG2 ISO/TC190 対応	平田 健正	
TC190/SC3/WG10 対応 WG	坂井 宏行	6/14
・WG3 ISO/TC221 対応	宮田 喜壽	
室内試験規格・基準委員会	古関 潤一	7/15
・WG1 物理特性	(小口秀俊)	
・WG2 化学特性	乾 徹	
・WG3 透水・圧密特性	(大向直樹藤	
・WG4 力学特性	原照幸)	
・WG5 安定化・締固め特性	(塚本良道)	6/11
・WG6 ジオシンセティックス	(阿部哲生)	
・WG7 ベンダーエレメント試験基準化	椋木 俊文	
・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG	山下 聡	
・WG12 動的試験基準検討 WG	大島 昭彦	
	伊藤 洋	

地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層（第3編） ・WG2 ボーリング・サンプリング（第4,5編） ・WG3 地下水（第7編） ・WG4 サウンディング（第6編） ・WG5 載荷試験（第8編） ・WG6 現場密度試験（第9編） ・WG7 現地計測（第10編） ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング（第11編） ・WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査（第1,2編） ・WG10 地盤環境調査（第12編） ・WG11 動的コーン貫入試験方法基準化WG ・WG12 地盤調査-基本と手引-改訂編集WG ・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG ・WG14 単孔を利用した地下水流向流速測定方法の新規基準化WG	谷 和夫 松島 潤 正垣 孝晴 中村 裕昭 田中 洋行 細野 高康 三嶋 信雄 上野 将司 平田 健正 木谷日出男 稲垣 秀輝 大島 昭彦 日比 義彦 伊藤 高敏 進士 喜英	5/7, 8/22 4/18, 8/8 4/20 5/25 8/1 5/9, 8/27 7/19 8/8
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	4/23, 7/5, 9/26
地盤工学表記法 ・WG-A	大島 昭彦	4/17, 6/14, 8/10

5. その他

- 1) 理事会（平成24年 7月 27日（金）開催，平成24年 9月 28日（金））
への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会（平成24年 9月 11日（火）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
 - ・ 24年度第3回：平成24年 9月12日（水）14時～
（対応理事会 H24.9.28 or H24.10.24（書面））
 - ・ 24年度第4回：平成24年 11月20日（火）14時～
（対応理事会 H24.11.30 or H24.12.19（書面））

☆ 平成24年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

◎理事会

- ① 4月27日（金） ※書面審議
 - ② 5月14日（月）
 - ★ 6月13日（水） 総会／理事会
 - ③ 6月20日（水） ※書面審議
 - ④ 7月27日（金）
 - ⑤ 9月28日（金）
 - ⑥ 10月24日（水） ※書面審議
 - ⑦ 11月30日（金）
 - ⑧ 12月19日（水） ※書面審議
 - ⑨ 1月25日（金）
 - ⑩ 2月20日（水） ※書面審議
 - ⑪ 3月15日（金）
-
- ⑫ 4月24日（水） ※書面審議

⑬ 5月17日(金)

★ 6月13日(木) 総会/理事会